

# 平成26年度和文化教育学会 和文化教育第11回全国大会武蔵村山大会の御案内

どなたでも御参加できます。  
どちらの内容からでも御覧いただけます。

参加費無料



和文化教育学会会長

梶田 叡一

和文化教育第11回全国大会武蔵村山大会実行委員長

(武蔵村山市教育委員会教育長) 持田 浩志

平成26年度和文化教育学会 和文化教育第11回全国大会は、日本の伝統・文化理解教育を様々に推進している東京都武蔵村山市を会場として開催されます。2日目には、市内の全小・中学校（小中一貫校を含む13校）が会場に集まり、授業を公開するとともに、全国からの実践報告を行いますので、御参会くださいますよう御案内申し上げます。

【メインテーマ】我が国や郷土に根ざす伝統・文化を学ぶ教育実践

【サブテーマ】夢と希望は自信と誇りから

## 1 開催趣旨

児童・生徒が、我が国や郷土に根ざした伝統・文化及びそれらを継承してきた先人から学ぶことができる学校教育の在り方について、研究を深める。

## 2 日程等

◆日時	平成26年11月21日（金）・22日（土）
◆会場	多摩地区初の施設一体型小中一貫校 武蔵村山市立小中一貫校村山学園 〒208-0012 東京都武蔵村山市緑が丘1460 TEL 042-561-1762 ※ 多摩都市モノレール 桜街道駅から 徒歩10分

◆主催	和文化教育学会 和文化教育第11回全国大会武蔵村山大会実行委員会
◆共催	武蔵村山市 武蔵村山市教育委員会 武蔵村山市公立小・中学校校長会
◆協力	武蔵村山市公立小中学校PTA連合会
◆後援	文部科学省 東京都教育委員会 東京都市教育長会 東京都公立小学校長会 東京都中学校長会

【問合せ先】 和文化教育第11回全国大会武蔵村山大会実行委員会事務局  
(武蔵村山市教育委員会 教育指導課) TEL 042-565-1111 (内線438)

### 3 時 程

【第1日目】11月21日（金）

12:30	13:00	13:20	14:00	14:20	15:20	16:30	18:00
和文 化 教 育 学 会 理 事 会	受 付	オープニング アトラクション 村山学園 指導者 増田 康乃 第十小学校 吹奏楽クラブ 指導者 植場 鉄平	開 会 式	基調講演 「伝統・文化の 教育とは何か」 和文 化 教 育 学 会 会 長 梶 田 叡 一 先 生	シンポジウム 「我が国と郷土に根 ざす伝統・文化を学 ぶ教育実践」	諸連絡	全 国 懇 親 会
市内全小・中学校における和文化教育実践の展示							

＜シンポジウム＞ 「我が国と郷土に根ざす伝統・文化を学ぶ教育実践」

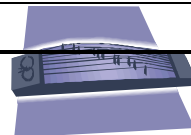
- ・言葉と体験を重視した学校づくり—多摩地区の伝統・文化を生かして—  
東京都多摩教育事務所 儘田 文雄 先生
- ・東広島市における和文化教育  
東広島市教育委員会 小川 寛 先生  
～一校一和文化学習の充実を目指して～
- ・空間的地域単位からシンボリック地域単位としての和文化教育  
関西学院大学教育学部 中村 哲 先生  
司会 武蔵村山市教育委員会 榎並 隆博

【第2日目】11月22日（土）

8:50	9:20	10:30	12:00	12:10	13:10	14:40	15:50
受 付	市内全小・中 学校の授業実践 (村山学園 各教室会場)	児童・生徒 による 発表	諸連絡	昼食 和文 化 教 育 学 会 総 会	研究発表 (分科会) ・全国学会員 ・武蔵村山市	特別講演 「人生に悩んだら 『日本史』に聞こう」 白駒妃登美先生	閉 会 式
市内全小・中学校における和文化教育実践の展示							

### 4 授業実践の内容（9：20～10：10）※小学校の授業は10：05まで

学 年	学校名	教 科 等	実践内容	授業者	
小 学 校	第1学年	第七小	学級活動	百人一首大会をしよう	教 諭 加藤 貴士
	第2学年	第八小	道 徳	日本人のあいさつと真心	主幹教諭 植杉 義久
	第3学年	村山学園	総合的な学習の時間	「体験！日本のすてき」村山音頭を踊ろう	主幹教諭 島田 弘子 他
	第4学年	第一小	総合的な学習の時間	村山かてうどんを作ろう	主幹教諭 大谷 文彦 他
		村山学園	音 楽	箏の音色に親しもう（交流授業）	主任教諭 畠山 泰孝
	第5学年	第九小	図画工作	幻獣 ～白と黒とその間で表す～	教 諭 藤井 隼人
		雷塚小	道 徳	故郷のため 多くの命を救いたい	教 諭 佐伯 純
	第6学年	第二小	総合的な学習の時間	地域のお祭りからお囃子を学ぼう	主任教諭 今井 一馬 他
		第三小	総合的な学習の時間	茶道体験 もてなしの心を学ぶ	主幹教諭 保科 互隆
第十小		体 育	相撲（日本の国技に学ぶ）	教 諭 古嶋 将幸	
中 学 校	第1学年	第一中	家 庭	大切に作る心が生んだ風呂敷文化 —1枚の布で包む・運ぶ—	主任教諭 河野 訓江
		第四中	数 学	和算を通じて江戸文化に触れる	教 諭 松葉 健太
		第五中	社 会	村山大島紬を身近な人に知ってもらおう	指導教諭 市川 敦子
	第2学年	村山学園	音 楽	箏の音色に親しもう（交流授業）	主任教諭 畠山 泰孝
	第3学年	第三中	国 語	俳句に親しむ	教 諭 田中 森恵



◎同時公開【体験教室】(9:20～10:10)(村山学園児童・生徒自由参加による)

教室名	ゲストティーチャー
和装講座	装道礼法きもの学院分院栗原和子きもの学院 栗原 和子 先生
絵手紙講座	日本絵手紙協会講師・運営委員 田淵 伸子 先生
手づくりの尺八講座	日本民謡 米谷一義会 会主 米谷 一義 先生 武蔵村山市長 藤野 勝 先生
百人一首かるた講座	全日本かるた協会・教育を支援する市民の会
英語で日本紹介講座	本市ALT5人(都内小・中学校唯一の文部科学省JETプログラム派遣ネイティブスピーカー〔Ms.Kerri-Ann, Ms.Stephanie, Ms.Jessica, Mr.Chad, Mr.Vince〕)による日本の伝統・文化の紹介

5 児童・生徒による発表

(1) 意見発表「我が国の先人から学ぶ ～未来を担う ぼくたち わたしたち～」(10:30～10:50)

学校名	学年	題名	氏名
小中一貫校村山学園	第9学年	未来に伝えていきたい伝統の世界観 ～千利休～	松浦 梨花
第一中学校	第3学年	五つの実践 ～長谷部誠～	三井 駿
第三中学校		和の心 ～聖徳太子～	菊谷 亜美
第四中学校		人の役に立つ ～野口英世～	田母神 唯
第五中学校		友情のメダル ～西田修平・大江季雄～	佐久間円華

(2) 学習発表(10:55～11:55)

学校名	学年	教科等	発表者	発表内容
第八小学校	第5・6学年	総合	教諭 太田 誠一	ラオスの子供たちに日本の文化を伝えよう ～ワンコインプロジェクトの取組～
第九小学校	第5学年	総合	教諭 岩本 亮介	狭山茶を極めよう ～茶摘み・製茶から茶道体験まで～
第五中学校	第2学年	理科	主任教諭 有沼 賢二	日本古来の天気や気候の表現 月の満ち欠けと名称

6 研究発表(全5分科会)(13:10～14:30)

本市及び和文化教育学会の実践

	発表者等	研究発表内容	助言者
第1分科会	武蔵村山市立第二小学校 赤坂 弘樹	3年生以上の児童が菊づくりに挑戦	関西学院大学 五百住 満 先生
	明石市立鳥羽小学校 八木 真由美	ふるさと明石のたからもの ～総合的な学習の時間を通してふるさとを愛する心を育てる～	
	由利本荘市立岩城小学校 金利紀	秋田県の和文化教育 ～ふるさと教育との関係～	
第2分科会	武蔵村山市立第十小学校 内田 調	二宮金次郎に学ぶ	近畿大学 永添 祥多 先生
	関西舞台芸術研究所 森村 暁子	伝統芸能“能”における先行オーガナイザーの研究	
	関西学院大学大学院 森 一郎	日本人の宗教心 ―高校「倫理」の教科書より―	
第3分科会	武蔵村山市教育委員会 教育指導課 勝山 朗	全小学校の5年生による水田学習	大阪教育大学 馬野 範雄 先生
	神戸市立長尾小学校 西村 康幸	横断的カリキュラムとしての和文化教育の活性化 ～一担任から始める小学校3年生における授業実践～	
	関西学院大学教育学部 峯岸 由治	文化の独自性と多様性の視点から風を教材化した授業実践の解明 ～小4総合的学習実践「風のがった日」を手がかりに～	

第4分科会	武蔵村山市教育委員会 文化振興課 山田 義高	小・中学校全校参加による百人一首大会	鳴門教育大学 余郷 裕次 先生
	千葉県立中央博物館 佐藤 誠	先人の知恵と暮らしの道具に学ぶ小学3年生の博物館学習	
	埼玉県立さきたま史跡の 博物館 向井 隆盛	博物館における文化体験学習の性格 一さきたま古代体験の実践を手がかりにして一	
	美濃加茂市文化の森館 可児 光生	地域の誇りとしての博物館	
第5分科会	武蔵村山市教育委員会 学校給食課 神山 幸男	和食（米飯）を重視した学校給食	奈良学園大学 渡邊規矩郎先生
	武蔵村山市立第八小学校 田代 由美子	和楽器を取り入れた授業実践 一筆を入れて日本の音楽を合奏しよう一	
	和泉市立国府小学校 太田 雄久	理科教育と和 문화	
	岐阜県佐見和文化教育 研究グループ 藤倉 ルミ	和文化を題材とした情報教育の実践	

## 7 特別講演（14：40～15：50）

「人生に悩んだら『日本史』に聞こう」

講 師 日本<sup>しらこま</sup>の歴史・文化<sup>ひとみ</sup>研究家 白駒 妃登美 先生

<プロフィール>埼玉県生まれ、福岡県在住。慶應義塾大学卒業後、大手航空会社の国際線乗務員として7年半勤務。その後結婚、出産を経て、福岡県を拠点に結婚コンサルタントの活動をしながら、「博多の歴女」として歴史講座を積極的に展開。平成24年、日本の歴史や文化の素晴らしさを国内外に広く発信する「株式会社ことほぎ」を設立。全国各地で講演活動に取り組んでいる。

## 8 その他

本大会の開催に賛同し、御協賛金を御提供いただける企業・団体等の方を募集します。御協賛いただいた企業・団体等につきましては、大会紀要に広告を掲載させていただきます。

## 9 会場までの交通

